

皆様、あけましておめでとうございます。年頭にあたり、これまで数多くのアドバイスをいただいたまちづくりコーディネーターの吉田洋子さんからのメッセージをご紹介しますとともに、最近のニュースを二件お伝えします。本年もよりよいまちづくりに向け、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

1 「霧が丘のまちづくりのこれから」

まちづくり推進会では、2013年8月から、横浜市から「まちづくりコーディネーター」の吉田洋子先生の派遣を受けて活動してきました。吉田先生は、自らの子育てや地域の活動をきっかけに、さまざまな市民活動、まちづくり活動に参画し、現在では、大学で教鞭をとる傍ら、市民、NPO、行政、企業をつなぐファシリテーターとして活躍、様々な地域でまちづくりの支援を行っておられます。今回は、吉田先生から、「霧が丘のまちづくりのこれから」と題してご寄稿いただきました。

皆様、プランと組織認定おめでとうございます。皆様の努力の成果です。本当に良かったです。今までいろいろ苦労してきたのでうれしさも大きいと思います。これからまちづくりを進めるにあたって動きやすくなりました。

第一小学校の跡地問題で始まったまちづくりも皆が住みやすいまちの実現を目指してと大きな道しるべが出来ました。これから小学校跡地における地域活動拠点の実現を目指すとともに、楽しいまちづくりを皆で取り組み、よいまちにしていけたらと思います。

実験を始めた庭先カフェ、四丁目と協力して実行したクローバーまつり、この発展はまちぐるみの花と緑を広げていくことにつながります。また同時開催しているマルシェも、これを進めることでまたまちの中の交流も生み出します。近隣地区や霧が丘高校などと繋がっていったらよいですね。また買い物などの不便さを解消することにもつながったら一石二鳥です。若葉台地区とのつながりも、歩道の改善やコミュニティバスの実現などで進めていったらよいですね。

まずは皆で再度まち歩きを行い、まさに一歩ずつ進めていけたらと思います。なんだか考えているだけで楽しくなりますね。夢が膨らんできますね。これからもいろいろな問題にぶつかると思いますが、皆の力で地道にゆっくり楽しくまちづくりを広げていきましょう。皆様に期待しています。

吉田洋子（横浜市まちづくりコーディネーター）



2 まちづくりニュース

2.1 旧第一小跡地利用サウンディング型市場調査の報告が公表されました

旧霧が丘第一小学校跡地を保有する横浜市財政局が跡地利用を希望する事業者の話を聞く「サウンディング型市場調査」が昨年 7 月に行われ、この度その結果が公表されました。通信制高等学校、義務教育学校、インターナショナルスクール、NPO 法人による教育機関等の提案があったほか、本部機能や研修所などの複合用途の提案もあったと報告されています。調査結果は以下のようにまとめられています。

- 複数の事業者の提案から、既存校舎を教育機関として活用することが可能であることを確認した。
- 校舎・グランド等の地域利用・開放、地域防災への関与、各種講座の開催等、多様な提案が出され、教育機関による活用が地域貢献につながることを確認した。

さらに以下のような方針が示されており、まちづくり推進会の活動も考慮していただけたことが伺われます。

- これまでの周辺地域におけるまちづくり活動の状況を踏まえると、当該地は、地域コミュニティの活性化につながる様々な取組の場としての活用が期待されています。

今後は、関係区局と連携しながら公募実施に向けた取組を着実に進めていくとされ、教育機関による活用を前提とした方向で進んでいく模様です。報告の詳細は、以下で閲覧可能です。

・旧霧が丘第一小学校跡地サウンディング型市場調査実施結果 URL

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/toti/hoyutochi/kiri1sounding/kiri1sounding.html>

タウンニュース



2.2 タウンニュースで紹介されました

「霧が丘六丁目地区 多世代が快適に暮らせる魅力をつくるまちづくりプラン」と霧が丘六丁目街づくり推進会の認定を伝えるニュースが、地域情報誌の『タウンニュース』緑区版に掲載されました。

多くの方の目に触れる紙面に霧が丘六丁目のまちづくりプランや活動が紹介されることで、私たちの街づくりプランの認知が一層進み、多方面からのお力添えが得られることも期待できます。